

川の市民情報



国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM事務局 URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
 TEL : 045-503-4015 FAX : 045-503-4092 メール / ktr-keihia50@mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM):住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

水防災意識社会 再構築ビジョン

減災のためハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進。このうち「洪水を安全に流すためのハード対策」と「危機管理型ハード対策」について平成32年度を目途に実施します。「ソフト対策」についても「洪水浸水想定区域」を指定・公表し、併せて「家屋倒壊等氾濫想定区域」の公表などを行っています。

平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。

この答申を踏まえ、国土交通省では新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行うこととしました。

京浜河川事務所では関係機関等との協議の場として、既存の「京浜河川災害情報協議会」の中に専門部会、幹事会を新たに設置しました。氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を目的に「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に進めていきます。

水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

- <ソフト対策>** ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。
- <ハード対策>** ・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策 各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>

天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護(鴨瀬川水系古田川、平成27年9月関東・東北豪雨)

護国堤

対策済みの堤防

<洪水を安全に流すためのハード対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

沼内

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表
 - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

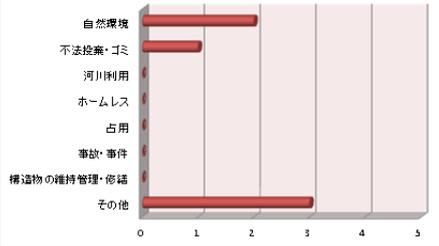
家屋倒壊等氾濫想定区域*

* 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

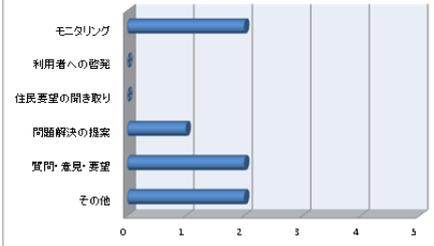
※概要のみのご紹介になりましたが、詳細については京浜河川事務所HPをご覧ください
 京浜河川事務所ホーム > 「河川の防災」及び「記者発表資料」 <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

平成28年8月は、6件の報告をいただきました。ありがとうございました。

対象分野



連絡内容



管轄区間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	5人	0人	0件
鶴見川上流	6人	1人	2件
多摩川下流	6人	0人	0件
多摩川中流	8人	2人	2件
多摩川上流	0人	0人	0件
相模川	8人	2人	2件
浅川	5人	0人	0件
合 計	38人	5人	6件

8月のご報告より

一部内容を省略させていただきます。ご了承ください。

皆様からのご報告お待ちしております！

鶴見川上流分科会 由良様

活動中に矢上川でカワセミを発見。写真及び動画を撮って、報告していただきました。



【二羽のカワセミのほほえましい姿ありがとうございます。河川環境部署に報告させていただきました。】

他国の河川利用規則是知りませんが、おそらく国毎に異なり(日本では河川毎に異なる)、例えば鶴見川でのバーベキュー・釣りの可否、遊漁料支払いの要否等は(日本人でも)相当事情に明るく無ければ解らない事と考えられます。これら河川安全や利用に関する最低限の情報は、現地に掲出されている事が望ましく考え、また、外国人利用者の存在を考慮し、日本語だけでなく外国語でも表記されている事が必要と思います。

【ご意見ありがとうございます。今後の課題として、参考とさせていただきます。】

多摩川中流分科会 福井様

「再び生命をはぐむ東京湾になった」

本日某TV番組でひところ汚染で危ぶまれていた東京湾がきれいになって約700種類の生き物が生息していると報道していた。それは、多摩川など東京湾にそそぐ河川の水質が回復した証拠。江戸前寿司のネタも、立派に育って、我々の食生活に貢献していて、驚くことにサンゴも茂り、ロマンがある湾に変わってきている。深海魚もとれる。多彩である。透明度もある。カキの養殖もシジミも水をきれいにする浄化作用があり、近頃はハマグリもとれる。

魚の味は濃く、イカ、アナゴ、ハモ、タコ、車エビ、カレイ、アジもとれる。特にアジは金アジと言って、関サバに匹敵する東の高級魚が網にかかるそうだ。この素晴らしい再生は立派なレガシーとなって、未来に誇れるものだ。

【一昔前と比べるととてもきれいになりました。】

相模川分科会 宮崎様

明け方の閃光雷雨模様も晴れ上がり、赤トンボが群れ飛んで風が涼やかに感じられる夕刻のひとつ、いつもの左岸河畔を散策してまいりました。

7月から茅ヶ崎市廃棄物減量推進審議会委員に任じられたことも視線に加えてのパトロールとなりますが、気のせいかな今年では野菜ごみの放棄も見られず、ひと安心です。左岸堤防整備補強工事も順調に進捗し、その上今日は除草工事の最中でもあり、この恵まれた環境に感謝しております。

久しぶりに気持ちのよいウォーキングでしたが、ただ例の放水路の池だけはいつものように汚濁水に満たされており、残念の極みであります。

【いつもモニタリング、報告ありがとうございます。】

相模川分科会 中谷様

相模川右岸堤防の河川敷への入口にて、門扉入口の土盛り部分に車両が入って崩されている。

前日の平塚花火大会見物人等の無茶な車両通行などによるものと推測される。

遊歩道及び競輪駐車場の入口として通行量が多い入口門扉のため、門扉の施錠にも影響する箇所のため、早急整備するなどの対処していただきたいと思います。

【占用地であったため、占用者に対応を依頼しました。】

多摩川中流分科会 中川様

2016年7月号川の市民情報での「マナー、モラルを守って!!」の記事について、「マナーの向上云々?ご理解とご協力のほど…よくわかるが」マナー・モラルでなく、ルールづくり(規制)が最大の課題。とのご意見をいただきました。

【ご意見ありがとうございます。皆がマナー・モラルを守って規制の必要がないのが一番なのですが…】

※頂いた情報は個別に対応・所内情報共有させていただきます。

RCM事務局より

当紙7月号を発行した時の台風はまだ1号が発生しただけでしたが、その後次々に発生し16号(9/22現在)まで発生しています。8月は5~11号の7個の台風が発生し、その内4個もの台風が日本に上陸し各地に被害をもたらしています。台風10号は太平洋側から東北地方に上陸し、これは観測史上初めてとか。台風などの大雨の時は、自治体や国土交通省、気象庁などの情報を活用して下さい。

RCM事務局山口